

平成26年度の主な取組みについて

I 安全・安心・納得の医療提供

1 医療情報提供、医療相談体制の充実

- ①広報機能強化による本院の治療の特長、症例数、手術件数等の診療情報の提供の充実
- ②ホームページの積極的な活用(例：臨床指標の公表等)
- ③**◎総合診療外来の設置**
 - ・高齢化に伴う複雑かつ多岐にわたる疾病に対応するため、総合的視点から患者に応じた診療を行う体制整備(必要に応じて専門診療科に受診)
- ④セカンドオピニオン外来、がん相談支援センター、看護専門外来の継続実施

2 信頼される病院づくり

- ①医療安全体制の維持・強化
 - ・医療安全委員会、医療安全管理室を核として「医療事故防止対策マニュアル」に基づく医療安全の徹底と医療安全活動の継続実施
- ②医療関連感染制御の取組みの推進
 - ・感染対策部会、感染防止対策チーム等の体制を核として「感染防止対策マニュアル」に基づく感染防止の徹底と職員への感染管理教育の継続実施
- ③個人情報の保護
 - ・病院職員、非常勤職員、委託職員を対象とした個人情報の取扱いに関する教育を継続実施
- ④利便性の向上
 - ・みなさまの声や医療サービス向上委員会によるアンケート(患者、職員)等を通して寄せられた意見をもとに、利便性向上の改善
 - ・職員の接遇などサービス向上

3 医療スタッフの確保・資質向上

- ①医師の確保
 - ・関連大学附属病院医局に対する医師派遣要請の継続実施
 - ・医師への助成制度の継続実施
 - (学会出張費用及び参加負担金の助成、住宅の家賃助成(基準助成額4万円/月))
 - (救急勤務医・産科医確保のため、特殊勤務手当の支給)
- ②臨床研修医の確保
 - ・医学生向けの病院説明会(レジナビ)に参加
 - 東京会場(7月) 金沢会場(予定)
 - ・本院における医学生の実習(4~6月)や見学会の受け入れ(随時)
- ③医師の負担軽減による診療充実
 - ・**◎医師事務作業補助者の試験的配置(外来)**
- ④看護師・医療技術者の確保

⑤職員の資質向上・キャリアアップ支援

- ・看護師育成事業
 - a 認定看護師の育成 認定看護師教育課程 1 名受講〈感染〉
 - b 認定看護師の資格更新に係る負担金等の支援
 - 6 名〈緩和ケア、皮膚排泄ケア、がん化学療法看護、感染管理、乳がん看護、がん放射線療法看護〉
 - 〈H25：教育課程修了 2 人（認知、緩和ケア）〉
- ・薬剤師、検査技師等医療技術者育成事業
 - a 感染制御専門薬剤師(1 名)、緩和薬物療法認定薬剤師の育成(1 名)
 - b 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師の育成(1 名)
 - c 細胞検査士の育成(1 名)
 - d 放射線治療品質管理士認定資格取得に向けた取組み（4 名）
- ・各種指定病院として必須な資格の維持、資質向上のための研修会参加等の支援
- ・9 部科、54 院内委員会が主催する職員を対象とした講演会（研修会）の実施（107 件）
- ・フォートウェン市パークビュー病院との医療交流事業

II 地域に根差した医療の提供

かかりつけ医や地域の医療機関等との機能分担を推進し、紹介による急性期患者の早期受入れや急性期を脱した患者の開業医や介護老人施設等への逆紹介を積極的に取組み、病病連携、病診連携を強化し、安心して信頼のおける地域完結型医療を目指す。

- 1 紹介・逆紹介の推進
- 2 病病・病診連携の強化
- 3 地域連携クリニカルパスの推進
- 4 地域支援機能の充実
- 5 専門外来の充実
- 6 予防医療の推進

- ①医師等による 開業医、福祉施設への訪問
- ②「高岡医療圏地域れんけいネット」の活用の推進
- ③各医療機関、介護老人保健施設や居宅介護支援事業所などの各施設等との情報交換会開催
- ④地域連携クリニカルパスの推進を図るための研修会の開催
- ⑤専門外来(20 外来)の継続実施
- ⑥院外健康教室、出前講座の開催
- ⑦高岡市検診事業への継続参加
- ⑧戦略的な広報活動の充実
 - ・高岡市民病院だよりの発行（3 回予定：4 月、9 月、1 月）（開業医 416 施設 47 等）
 - ・開業医訪問(5 月末～7 月末)（予定）
 - ・医療連携懇話会の開催
 - ・病院案内(特長)冊子の作成
 - ・ホームページの積極的な活用(例：臨床指標の公表等)（再掲）

Ⅲ 急性期・高度医療の充実

高岡医療圏の中核病院、あるいは自治体病院として、政策的医療(救急、精神、結核、感染症)に引き続き取り組むとともに、高度先進医療の充実を図り、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院として、急性期医療の強化に努める。

- 1 急性期救急医療の充実
- 2 地域がん診療連携拠点病院としての機能強化
- 3 5 疾病への対策強化
- 4 感染症等に関する取組みの推進
- 5 国が求める病床再編に向けた取組み

- ①病院群輪番制による二次救急病院としての救急患者の受入れの継続
- ②⑩包括的がん医療センターの設置に向けた検討
- ③5 大がん(乳腺・大腸・胃・肝・肺) 地域連携クリニカルパス運用及び連携医療機関の拡大
- ④がん相談支援の充実
- ⑤「北陸がんプロフェッショナル養成プログラム」への積極的な参加(TV 会議への参加)
- ⑥緩和ケア研修会の開催
- ⑦脳卒中地域連携クリニカルパス運用
- ⑧糖尿病対策チームによる院内糖尿病教室の継続実施
- ⑨糖尿病透析予防指導の継続実施
- ⑩精神科救急情報センター事業、精神科救急輪番制度の継続実施

Ⅳ 経営の安定

政策医療や高度先進医療等の安定的かつ継続的に提供していくために、自律性の高い健全経営に努める。

- 1 経営の安定に向けた職員の意識醸成
- 2 医業収益の確保
- 3 適正な職員配置と人的資源の活用
- 4 病院施設の改修・医療機器の更新
- 5 修繕計画の策定
- 6 薬品・診療材料の効率的運用と費用の削減
- 7 情報化の推進
- 8 一般会計繰入金の適正化の維持

- ①病院外部委員による経営懇話会の定期開催
- ②職員の経営意識の醸成のための、経営に関する講演会等の開催
- ③⑨診療報酬改定に係る施設基準の届出と今後の検討・・・別紙1
- ④第IV期中期経営計画の評価指標を基にPDCA サイクルを活用した経営管理

⑤計画的修繕の実施

- ・ 外来待合室排煙窓修繕 18,400 千円
- ・ ナースコールシステム更新 (H25～H27) 24,000 千円
- ・ 電話交換機システム更新 (H26) 26,616 千円

⑥⑨物品管理供給業務システム(H26～H28)の導入

- ・ 対象：診療材料、日用品、事務用品等 (対象:H24 決算 771,310 千円)
- ・ 目的：診療材料等の在庫の節減

⑦ジェネリック医薬品の採用促進による費用の抑制

| | H20年度 | H21年度 | H22年度 | H23年度 | H24年度 | H26年2月現在 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------------|-------------|
| a後発品数 | 118 | 154 | 159 | 186 | 244 | <u>254</u> |
| b採用数 | 1405 | 1393 | 1403 | 1414 | 1499 | 1425 |
| 数量比a/b % | 8.4 | 11.1 | 11.3 | 13.2 | 16.3 | <u>17.8</u> |
| 金額比 | 6.3 | 9.1 | 10.2 | 11.3 | <u>12.8</u> | |

参考：第Ⅲ期中期経営計画目標(H25年度まで)

採用数150品目以上、数量比20%以上、金額比10%以上

⑧⑨病院情報システムの機能向上

- ・ 病院情報システムの更新 (H25～H26) 平成 26 年 9 月末開始
555,700 千円 (総額:845,000 千円)

⑨⑨経営支援システムの導入 10,044 千円

- ・ 医事システム、物流システム、財務会計システムを一元化し医療情報を分析する。